

## 平成27年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)の第2回応募概要 及び同事業評価委員会の講評について

平成27年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)における第2回応募の状況及び「サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)評価委員会」において出された全体講評は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 応募状況

本事業において、「建築物の木造化」(以下「木造化」という。)及び「建築物の内装・外装の木質化」(以下「木質化」という。)の提案について、公募(平成27年11月5日から12月7日)を行ったところ、5件(木造化5件木質化0件)の応募があった。

#### 2. 評価の経緯

評価は、一般社団法人木を活かす建築推進協議会に設置した、学識経験者からなる「サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)評価委員会」(以下「評価委員会」という。)において、以下の手順で実施した。

まず、応募のあった各提案の内容について、要件への適合、構造・防火面における技術の先導性、建築生産システムについての先導性、一般への普及・啓発効果等の観点から、書類審査を行った。

その結果、内容について詳細な追加情報が必要とされた提案については、さらに当該提案者に対するヒアリング審査を行い、本事業による支援対象として適切と思われる提案を選定した。

#### 3. 全体講評

今回の応募では、技術的先導性に加え、普及・啓発効果が高いと見込まれる提案が見られた。構造面や防耐火においては、既存の工法・防耐火を利用して未だ建設事例のない建築物の提案、ジョイント部の改善を行い 資材搬送方法の改善や現場加工に対する方法の提案、計算値と実験値を提示し信頼性の高いデータを提示し実現性が高い計画があった。防火面では、既存の防耐火を利用したもの、材料面においては、地域産材・国産材を活用するもの、地域振興、木材利用促進に積極的に取り組む計画が見られた。

その中で、採択相当とされたプロジェクトについては、木造化についての必要な検討がなされており、構造、防火、生産、施工等の面での工夫なども見られ、先導的な木造建築物として波及・普及効果が期待できるものであった。

一方、今回採択相当と認められなかった提案は、計画時点で木造を選択した理由が不明確であり、構造や防耐火での先導性が見られなかったものなどであった。

#### 4. 評価結果

上記2の評価により、本事業による支援対象として適切と判断した2件のプロジェクトは、以下のとおりである。

##### (1) 国分寺フレーバーライフ社本社ビル 新築工事[木造化]

国分寺駅前に新築される、国内初の7階建て木質ハイブリッド耐火建築物の事務所ビル計画。木質ハイブリッド耐火部材を4-7階に採用し低層階ではS造耐火被覆であるが木質外装材、木質外装ルーバー材を採用し木をアピールしている。

鉄骨内蔵の木質ハイブリッドは過去にいくつか採択されているが、都市型狭小地に建つ建物に対

し ノンブラケット工法柱材による搬送方法の合理化や、短材である横架材のハイブリッド化に対しての有効性などに工夫があり優れている。また、この方式を採用することにより、接合部での木材の納まりにも、耐火性能を確保するための新たな工夫が必要となる。これらは、今後の設計者に参考となることが予想できる。

都市型狭小地へのモデルケースとして普及波及効果が期待できる。

## (2)小倉京の湯新築工事[木造化]

福岡県北九州市の商業地域において、憩いの場を兼ね備えた宿泊施設(カプセルホテル)を1、2階を鉄骨造、3～6階を枠組壁工法(1時間耐火)とした国内初の中層混構造建築物の計画。

枠組壁構法での合成梁(構造評定を取得予定)による床水平構面、屋根水平構面を構築する構造体を実現している。

また、木造部分は枠組壁工法であるが、国産杉のディメンジョンランバー、国産針葉樹合板を多用することとしており、木材利用促進に積極的に取り組んでいる。

この建物も、都市中心部での木造建築普及のモデルケースと位置づけることができる。

## 5. 評価のポイント

本事業の評価のポイントとして以下の項目が挙げられる。今後の提案内容の検討に際しての参考とされたい。

### (1)構造、防火面における先導性等について

構造面(例:構造部材、接合方法又は既存の構造方法の組合せ)や防火面(例:燃えしろ設計、耐火部材の使用等)において先導性を有するとともに、それらの技術の実現に支障がないと判断されるものであること。

### (2)建築生産システムにおける先導性等について

効率的な生産方法や施工方法の導入など、生産面で先導性に優れた技術等が導入される事業計画であること。また、コスト面で課題となる木材の調達等について、自治体や研究機関等関係者との連携による相当の工夫が見られること。

### (3)技術等の普及可能性について

上記(1)及び(2)の先導的な技術等が、一般公開されるか、外部への積極的な発信が計画されており、第三者が当該技術の考え方を応用して類似の設計を行うことが可能なものであること。

### (4)その他の評価ポイントについて

上記(1)から(3)に加え、用途、規模、立地条件等による話題性・普及性、国産材の積極的な活用の提案、防耐火などに関して法遵守以上に避難方法等の熟考がなされ 地域のモデルケースとなると判断されるものがあれば、評価の対象となる。

## (参考)平成27度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)価委員会/委員名簿

委員長	大橋 好光	東京都市大学/工学部建築学科教授
委員	五十田 博	京都大学/生存圏研究所教授
委員	伊藤 雅人	三井住友信託銀行(株)/不動産コンサルティング部審議役
委員	腰原 幹雄	東京大学/生産技術研究所教授
委員	長谷見雄二	早稲田大学/理工学術院教授
委員	萩原 一郎	(独)建築研究所/防火研究グループ長
委員	林 知行	秋田県立大学/木材高度加工研究所教授

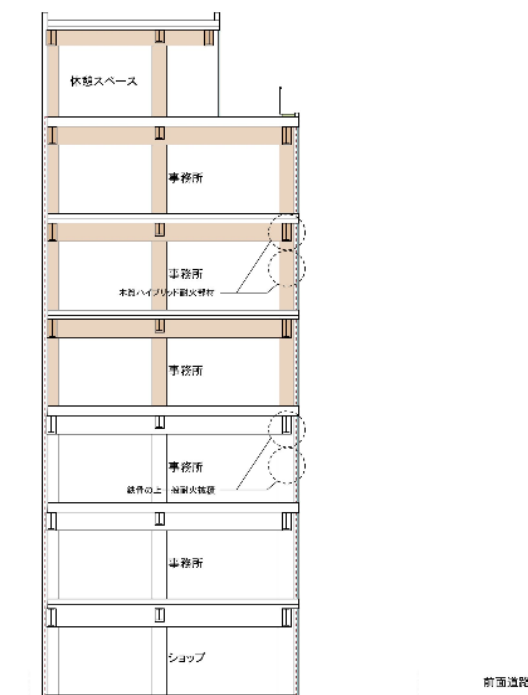
(敬称略。委員については、50音順)

## 平成27年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)第2回 採択プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名称	建設地	提案者 (建築主等)	用途	延床面積	階数	補助限度 額合計 (千円)	概要
1	国分寺フレーバーライフ社本社ビル 新築工事	東京都 国分寺市	株式会社フレーバーライフ社	事務所	601.872㎡	7	50,787	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺駅前に新築される「7階建て木質ハイブリッド造・事務所ビルである。国内初となる7階建ての木質ハイブリッド耐火建築物であり都市型・駅前型の中小ビルのプロトタイプとして設計・計画する。</li> <li>・木質ハイブリッド耐火部材を3-7階に採用・低層階での木質外装材、木質外装ルーバー材の採用</li> <li>・プロトタイプとして設計・計画する事によって郊外、地方都市の駅前等のビルへの木質建築物の波及・普及が期待できる。・波及・普及を促進する工夫として、柱梁ジョイント部分に着目した。ジョイント部分を従来の位置から変更することでコスト縮減、施工の簡易化を目指す。</li> </ul>
2	小倉京の湯新築工事	福岡県 北九州市	株式会社アイルイン&リゾート	宿泊施設	1,243.02㎡	6	62,121	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県北九州市の商業地域において、憩いの場を兼ね備えた宿泊施設(カプセルホテル)を1、2階鉄骨造、3～6階を枠組壁工法(1時間耐火)とした国内初の中層混構造建築物のプロジェクト。</li> <li>・大スパンを構成する架構部材に国産スギ材のディメンションラバー、国産針葉樹合板、釘及び金物を組合わせ、(財)建築センターの構造評定を取得予定の合成梁による床水平構面、屋根水平構面を構築する構造体を実現。</li> <li>・従来からある枠組壁工法の構造にビーム、構造用修正材等を採用することなく内部空間の可変性を高める大空間を作り出し、建築物のLCCを考慮した建築物とした。</li> </ul>

# サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)第2回 採択プロジェクト外観

## 1, 国分寺フレーバーライフ社本社ビル 新築工事



## 2, 小倉京の湯新築工事

